第156回ゴム技術シンポジウム

ゴム・プラスチックの成形加工技術の現状と将来

主　　催：日本ゴム協会研究部会　成形加工技術研究分科会
協　　賛：日本化学会，高分子学会，自動車技術会，日本塑性加工学会，石油学会，繊維学会，日本金型工業会，
（依頼中）　日本機械学会，日本合成樹脂技術協会，日本材料学会，日本接着学会，日本複合材料学会，
プラスチック成形加工学会，マテリアルライフ学会，日本トライボロジー学会，日本レオロジー学会（順不同）

日　　時：平成21年10月15日（木）午前10時～16時30分
場　　所：東京電業会館地下ホール　東京都港区元赤坂1－7－8　TEL. 03(3403)5181㈹
参 加 費：**日本ゴム協会会員　協賛団体会員23,100円**
（税込み）　※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会員**（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱い**の受講料で受付けます．
日本ゴム協会学生会員　10,500円　　会員外　31,500円
申込方法：申込み欄にご記入のうえ，FAX又はE-mailにてお申込みください（定員100名）
送金方法：現金書留または銀行振込（三井住友銀行日比谷支店　普通№7100847　社団法人日本ゴム協会）．振り込み手数料は受講者側でご負担ください．領収証がご必要な方は申込書欄外にその旨お書き添えください．一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください．開催日が近づきましたら，開催に関するご案内を発送いたします．
申 込 先：社団法人日本ゴム協会　第156回ゴム技術シンポジウム係（〒107-0051　東京都港区元赤坂1-5-26　東部ビル1階
FAX. 03(3401)4143　TEL. 03(3401)2957　Eメール：nakagawa@srij.or.jp）

	演　　題	講　　師・座　　長	
10：00－10：10	開会のあいさつ	成形加工技術研究分科会主査	石川　泰弘
		【座長】㈶化学物質評価研究機構	近藤　寛朗
10：10－11：10	**フィラー充てん未加硫ゴムの粘弾性と階層構造**	長岡技術科学大学　工学部　教授	五十野善信氏
（概　要）	フィラー充てん未加硫ゴムの粘弾性から内部階層構造について考える．		
11：10－12：10	**未加硫ゴムの加工性評価**	㈶化学物質評価研究機構	隠塚　裕之氏
（概　要）	未加硫ゴムの加工性のJIS，ISO，ASTMにおける評価方法および練り生地の熟成の意味と加工性，ゴム特性に及ぼす影響について述べる．		
		【座長】横浜ゴム㈱	加々美　茂
13：10－14：10	**ゴム系ナノコンポジットの成形加工**	アキバリサーチ	秋葉　光雄氏
（概　要）	ゴム系ナノコンポジットの成形加工の基礎から成形加工の比較，さらに最近注目されているバロプラスチックについて述べる．		
14：20－15：20	**ゴム・プラスチックの成形加工技術におけるトラブル対策**	西沢技術研究所	西澤　　仁氏
（概　要）	ゴム・プラスチックの押出成形加工，射出成形加工における不良の発生原因とトラブルについて述べるとともに，成形加工の基本技術として流動性，加硫挙動との関係について言及する．		
		【座長】東洋ゴム工業㈱	原田　　誠
15：25－16：25	**成形加工と品質（練り）**	横浜ゴム㈱	石川　泰弘氏
（概　要）	成形加工と品質について生産性，品質に関する要因をゴム練りについて解説したい．練りの要因は多岐にわたっているが未加硫ゴムの品質，精度に影響するのでその安定化のため多くの研究がなされた．今回は練りと未加硫ゴム安定化に言及する．		
16：25－16：30	閉会のあいさつ	成形加工技術研究分科会副主査	近藤　寛朗

※プログラムは一部変更になる場合がございますのであらかじめご了承ください．

第156回シンポジウム（成形加工）

受講者名　　**所属**
部署　　**連絡先住所**　〒　　ー

TEL　　FAX　　E-mail

会員の別（◯をお付けください）　正会員　賛助（法人）会員　学生　会員外
成形加工分科会会員　協賛（団体名　　）

支払予定日　　**支払方法**　　**請求書　要　不要（◯付）**

ご担当者名　　**所属**